

日立の気象 9 6 --- 2月「如月(きさらぎ)」---

2月の気象暦と過去の観測記録(日立)

- 4日 二十四節気「立春」
- 12日 最低気温氷点下-7.5 (1955年)
- 18日 最深積雪 19 cm (1984年)
- 19日 二十四節気「雨水(うすい)」

2月の気温、降水量の予報(関東甲信地方)

<< 気温 >>

20%	40%	40%
低い	平年並み	高い

<< 降水量 >>

20%	30%	40%
少ない	平年並み	多い

【2006年の天候の特徴】

年平均気温は 14.6 と平年より 0.6 高く、降水量は低気圧の影響などにより多くなり、年間 1700mm を超える高温・多雨の一年でした。冬季は、強い冬型の気圧配置により、日本海側では記録的な大雪となり「平成 18 年豪雪」と命名されました。日立でも前年からの低温傾向が続きましたが、2月中旬以降は南から暖かい空気が入り気温の高い日が多くなりました。

春季は、暖かい日が多く、桜も例年より早く開花しました。3月17日には発達した低気圧により、瞬間最大風速 29.7m/s を観測。その後も低気圧や前線の影響を受け、曇りや雨の日が多く5月の日照時間は平年の 75% でした。

梅雨・夏季は、梅雨前線の活動が活発で、「平成 18 年 7 月豪雨」と命名されるほど全国的に大雨が多発しました。日立の降水量も、6月は平年の 1.5 倍、7月も平年の 2 倍以上となり、関東地方の梅雨明けも 7月 30 日と大幅に遅れました。8月は太平洋高気圧に覆われ、気温の高い日が続きました。

秋季は、気温の高い傾向が 12 月まで続き、特に 10 月以降は月平均気温が平年より 1 以上も高くなりました。台風の影響が少なかった反面、台風並みに発達した低気圧による災害が目立ち、特に 10 月 6 日・7 日は、強風や大雨・高波・高潮により、日立でも床上浸水などの被害が発生しました。

台風の発生数は、23 個(平年 26.7 個)と少なく、日本への接近数は 10 個(平年 10.8 個)と平年並みで、年間の上陸数は 2 個(平年 2.6 個)でした。

日立市の天気予報は、ホームページで毎日発表しています。(<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso/>) また、ケーブルテレビの行政放送(5チャンネル)で、天気予報や悪天候が予想されるときには臨時の気象情報を発表しています。

【日立の気候表】

月	平均気温		降水量		日照時間	
	観測値	平年値	観測値	平年値	観測値	平年値
1月	3.6	4.5	50.5	46.3	178.1	195.0
2月	5.1	4.4	78.0	61.9	137.4	173.0
3月	7.7	6.8	72.0	103.5	200.2	181.3
4月	11.3	12.0	82.0	137.5	158.1	175.0
5月	17.0	16.1	155.5	160.6	130.4	174.8
6月	20.3	19.1	265.5	169.4	103.6	114.7
7月	23.0	22.9	345.0	142.4	72.7	136.2
8月	25.5	24.8	54.0	148.2	176.1	181.3
9月	22.1	21.6	189.5	197.9	150.4	129.8
10月	17.9	16.6	220.0	159.2	143.8	152.5
11月	13.0	11.8	96.0	81.2	169.1	161.9
12月	8.4	7.2	156.5	31.3	152.7	189.9
年間	14.6	14.0	1764.5	1439.4	1772.6	1965.4

* 1971 年 ~ 2000 年の平年値

問い合わせ 天気相談所 TEL 22-5520

IP 電話番号 050-5528-5066